

令和2年6月定例市議会

行政報告要旨

総社市

本日、6月定例市議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいまして誠にありがとうございます。

冒頭にあたり、この新型コロナウイルス対策で、市議会議員の皆様をはじめ、様々な立場で対応していただいている市民の皆様に感謝申し上げたいと思います。

まず、市議会におかれましては、先の4月臨時市議会において、新型コロナウイルス対策予算を、全国最速スピードでご議決いただいたこと、さらに、今議会において、政務活動費などを減額し、約1千万円の財源捻出を内容とする議案を提出していただくなど、市民に寄り添う市政を強力にバックアップしていただいていることに対しまして、厚くお礼申し上げます。

臨時市議会においてご議決いただいた経済対策予算を、私たちは、この未知なる新型コロナウイルスとの戦いで、さまざまな不安を抱えている市民の皆様に1日でも早く届けたい一心で、休日も返上し施策に取り組んでまいりました。その結果、市民の皆様から、残業している職員への激励や、多

くの感謝の気持ちをいただいたほか、「将来総社に恩返しする」というような嬉しい声も届いております。市民の皆様と心をひとつにして、一致団結して苦境に立ち向うことができる。このことに、心からお礼を申し上げたいと思います。

○新型コロナウイルス感染症対策

3月に開催した専門家会議での議論を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策の基本方針として、私たちは、「団結」「安心」「安全」の3つのキーワードを定め、「教育」「医療」「経済」の3つを重点分野としました。我が総社市は、新型コロナウイルスにより、今まで経験したことがないピンチを迎えました。しかし、ピンチはチャンスです。ピンチをチャンスに変えた本市の事例として、「総社デニムマスク」があります。マスクの需要が急速に高まる中、障がい者就労継続支援事業所が「総社デニムマスク」の販売を3月16日から始め、全国へと販路を拡大した結果、全国から注文が殺到し、今日までの受注枚数は18万5,552枚に達しています。これまで、本市の障がい者就労継続支援事業所が、これほど

まで仕事を受注したことはありません。これは、マスクがないというピンチを、障がい者の方の安定した仕事の受注と賃金の向上というチャンスに変えた成功例と言えます。私たちは、転んでもただでは起きません。転んだからには、必ずもっと強くなって立ち上がる。それを心がけて、前よりもパワーアップした本市を築いていきたいと考えております。

1) 教育分野

まず、教育に関しましては、子供たちの命と健康を全力で守り抜く、この強い決意を持って、苦渋の決断ではありましたが、小・中学校の臨時休業を行いました。結果的に、県内27市町村の中で、最も長い休業期間となりました。保護者の皆様の、ご理解とご協力に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

(学力保障)

この臨時休業による、本市の最も重要な課題は、子どもたちの学力保障です。臨時休業により失われた時間数は、中学生で約200時間にも上ります。この失われた貴重な学びの

時間を、何としても取り戻さねばなりません。そのため、本市では、夏休みを返上して授業を行います。具体的には、1学期を7月31日までとし、2学期の始まりは8月19日からとします。9月以降は、土曜日授業の実施も検討しております。

さらに、再びこのような非常事態に陥ったとしても、子どもたちの学びを決して止めないよう、6月補正予算案に、国のGIGAスクール構想に基づく、小・中学校への情報端末1人1台整備、このための2億8千7百万円を計上しております。このGIGAスクール構想については、6月3日に開催された全国市長会のWeb会議において、私は、岡山県市長会の会長として、早期実現と予算確保を強く提言したところでございます。これにより、学校教育のICT化をさらに加速させるとともに、将来的には、第2波に備え、家庭学習支援のためのポータルサイト「うち★スタ」をさらに進化させ、双方向のオンライン授業が実現する仕組みを構築してまいります。

私は、5月25日からの学校再開に際し、市内の中学校を

訪問させていただきました。生き生きとした表情で真剣に授業に取り組む子どもたち，そして，熱心に指導する先生方を見て，学校が地域の中心として重要な役割を果たしていたこと，先生や保護者，地域の皆様の力が偉大であったことを再認識いたしました。その認識の上で，そうじゃ教育大綱に掲げるように，本当の意味で「総社を愛す子供」「心優しい子供」「礼儀正しい子供」を育てていかなければならないと改めて決意いたしました。そのためには，新しい総社流の教育の進め方，対策，姿勢，仕組みというものを，新しい教育長の体制の下で模索していき，構築してまいります。

2) 経済分野

新型コロナウイルスの感染拡大を受け，私は，本市では絶対に倒産を出さないという強い決意を持って，緊急経済対策会議の意見を踏まえた上で，「お持ち帰りDEお得券」と「水道料金完全無料化」「給付金最速支給」を第1次緊急経済対策として打ち出しました。

(お持ち帰りDEお得券)

「お持ち帰りDEお得券」事業は、外出自粛で売り上げが大幅に減少している市内の飲食店を、市民みんなで応援しようという企画であり、5月2日から、市内の飲食店のテークアウトに使えるクーポン券を2万セット販売いたしました。大盛況により1日半で完売し、5月8日から追加で2万セットを販売しております。現時点のクーポン券の執行状況は、4,814万9,400円で、概ね、多くの飲食店で売り上げが増加したと聞いております。このクーポン券については、購入した市民の方々には大変喜んでいただき、飲食店の方々にも、休業せず頑張ろうという気力が出たと、大変好評をいただいております。

(水道料金完全無料化)

次に、総額3億7千5百万円で、全世帯・全事業所における、4月から7月にかけて、計4ヶ月分の水道料金の完全無料化を実施しました。これは、生活に直結する命をつなぐ水を、市民の皆様に安心して利用していただきたいという一心で決定したものです。非常時だからこそ、市民の当たり前の生活を守り寄り添うことが、私たちの重要な責務であると考

えております。

(国の給付金の最速支給)

さらに、経済的支援を必要とされる方々のお手元に、1日でも早くお届けするべく、国から支給される2つの給付金を最速で支給いたしました。1つ目は、特別定額給付金の10万円であり、これは、岡山県内で最も早く、5月7日から順次振込をしております。現在までの振込完了件数は2万6,146件であり、これは支給対象者の92%となっております。

2つ目は、子育て世帯への臨時給付金1万円です。これも、6月定期払い時に合わせて支給することも出来ましたが、全国最速レベルの5月22日には振込を完了しております。

さらに、国の第2次補正予算に計上されている、ひとり親世帯への臨時特別給付金についてですが、本当に困っている方に、より早くお届けしたいという思いで、この度、先議案件として本議会に提出しておりますので、ご審議の程お願い申し上げます。

この度の緊急事態宣言に伴う外出自粛要請は、本市経済に

大きな打撃を与えました。宣言が解除された今、私たちの使命は、市民が安心して外出できることと、一刻も早く経済を回復させること、第2波が来ても経済が停滞しない仕組みを作ることです。私たちが目指すのは、市内で経済を大きく循環させていく社会の実現であります。市民がなるべく市内で消費して、市内の経済を回していく力を呼び起こすこと、その仕組みが実現する第2の経済対策を、今議会中に打ち出していきたいと考えております。

3) 医療分野

続きまして、医療分野の取組でございます。本市では、市民の不安に寄り添う体制を確保するため、新型コロナウイルス感染症対策室や24時間電話相談窓口を設置してまいりました。さらに、吉備医師会の多大なご協力を賜り、市民の安全、安心を守るための医療提供の仕組み作りを進めてまいりました。具体的には、4月28日に、吉備医師会の医師と保健師が対応する、電話医療相談センターを設置いたしました。さらに、第2波で感染者が多数発生した場合には、吉備

医師会と共同で新型コロナウイルス専門の発熱外来を設置することを予定しております。

第2波に備え、フェイスシールド500個、防護服1,000着、マスク10,500枚といった医療用品の備蓄を進め、医療体制の強化を図ってまいります。

先の見えない感染症との戦いの中で、市民の皆様が不安を感じている時にこそ、寄り添い、手を差し伸べることが、本市の責務であります。今後、たとえ第2波に見舞われても、「経済が疲弊しない」「子どもをコロナに感染させない」「市内からコロナの死者を出さない」、強い総社を目指してまいります。

(復興住宅ついに着手)

続きまして、復興事業についてご報告させていただきます。生活の土台であるお住まいを整備し、今なお不自由な生活を強いられる被災者の方々に、1日も早く、心身ともに落ち着いた生活を取り戻していただくことは、本市が最も重要と考

える喫緊の課題であります。そのため、発災以来、昭和地区に設置されていた仮設住宅を、復興住宅へと補強するための工事に、最速スピードで着手いたしました。5月26日には、住民の皆様のご列席のもと、安全祈願祭を挙行了しました。復興住宅は12棟24戸と、集会所1棟で構成され、総事業費は約2億4,400万円となります。建設が完了した棟から順次入居を進め、スピード感を持って対応してまいります。

また、発災から2年目となる今年は、7月6日に、西仮設住宅において式典を開催する予定としております。お亡くなりになられた方々を追悼するとともに、決して忘れてはならない災害として後世に継承し、復興の誓いを新たにしております。

(ウェディングカード事業・パートナーシップ宣誓制度)

次に、カップルの皆さんへうれしいお知らせが2点あります。まず、結婚式の自粛・縮小が相次いでいることから、4月7日以降に結婚した全国のカップルに向けて、チュッピーからウェディングカードをお届けします。さらに、本市内

在住の方の場合には、チュッピーのぬいぐるみもプレゼントいたします。現在、ウェディングカードには全国から43件のお申し込みをいただいております。ぜひ多くの方にお申し込みいただきたいと思っております。

2点目は、7月1日から、パートナーシップ宣誓制度の岡山市との相互利用が可能になります。これは、本市と岡山市間で住所異動した際に、継続使用申請書を提出するだけで、登録内容を引き継げるという制度です。当事者の方のご負担の軽減が目的になっておりますので、ぜひご活用ください。

(2月議会での検討事項について)

ここで、2月議会で検討事項としたものにつきまして、その結果をご報告いたします。

まずは、加藤議員からの、総社駅西口付近に防犯灯を設置してはどうかとの提案についてですが、子どもたちの通学路の安全と西口の明るさの確保のため、4月中に6基設置しております。学校が再開した子どもたちの、安全安心につながることを思います。

次に、萱野議員からの、総合教育会議が長期間開催されていないため、定期的を開催してはどうかとの提案についてですが、今年度は、学校臨時休業に伴う対応協議のため、既に4回開催しております。今後の定期的な開催に向けては、教育委員会と相談しながら検討させていただきます。

終わりに、令和元年度の決算見込みについて、簡単にご説明申し上げます。

現在、令和元年度決算を取りまとめておりますが、令和元年度一般会計につきましては、約3億円の歳入不足となる見込みであったことから、財政調整基金から5億円の繰り入れを行うことにより、約2億円の黒字となる見込みでございます。

主な要因としては、地方交付税やふるさと納税の減収などが考えられますが、詳細については現在分析中でございます。

今後、新庁舎建設など、多くの大型事業が控えておりますが、まずは、新型コロナウイルス感染症対策事業、豪雨災害復興事業を最優先とし、それ以外の全ての事業について

も、実施時期や規模などをよく精査しながら、引き続き健全財政に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私たち市民は、あの辛くて苦しい、平成30年豪雨災害を、歯を食いしばり、市民の力を結集し、団結し、助け合いの精神で乗り越えてきた経験があります。あの時のように、辛い時こそ困っている仲間を支える、そんな市政を築きたいと私は強く思っております。この難局において、市民の命と生活を守り抜くために、職員一丸となって前進してまいりますので、議員の皆様におかれましても、一層のご理解と、ご協力をお願い申し上げ、私からの行政報告とさせていただきます。